

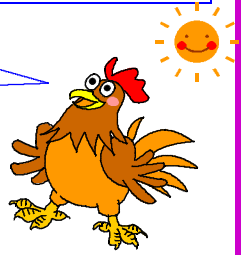
親子で警察官!



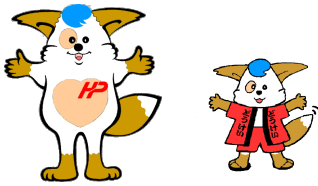
【父】…息子が小学生の頃、私は駐在所で勤務しており、毎日息子は働く私の姿を間近で見っていました。その息子が警察官になり、父親として嬉しく感じています。
(60歳男性・警部補・警察署地域課勤務)

【息子】…警察官になったきっかけは、就職先を探していた時に父から「警察官になってみたらどうだ」と声を掛けてもらったことです。私が子供のとき父は駐在所で勤務していて、いつも制服姿で一生懸命働く父を見ていたので、抵抗なく警察官という職業を選択できました。今では父親と同じ仕事の話ができたり、相談に乗ってもらったりして、とても良い関係です!
(32歳男性・巡査長・警察本部総務部勤務)

【父】…当時単身赴任中だった私は娘から電話で「警察官になりたい」という言葉を聞きました。最初は男性でも大変な職場なのに女性はもっと大変だと話し反対しました。その後、娘は民間会社に就職したのですが、やはり警察官になりたいという気持ちを捨てきれずにいたため私も応援することにしました。今では交番で頑張っているようです。
(59歳男性・警視・方面本部地域課勤務)

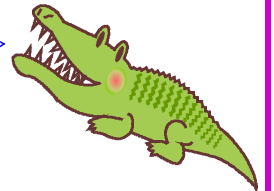


【娘】…最初は刑事ドラマなどを見ていて漠然と警察官は格好いいなと思っていましたが、高校生の時に警察官の父を改めて間近で見ているうちに本気で警察官を志望するようになりました。警察官になった今、仕事柄、友達には話せない事も父には相談できます。父と同じ職業に就いて良かったと思っています。
(29歳女性・巡査・警察署地域課勤務)

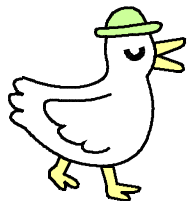


【息子】…父ちゃん、ボクも警察官になる!
【父】…お前は人間じゃないから無理だと思うよ…
(ほくと君親子)

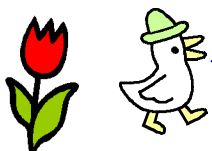
【父】…息子には、警察になれとか、なるなとかは言ったことはありません。年頃になった本人から「警察官になりたい」と聞きました。警察の仕事には大変なこともあり、息子の性格上「大丈夫かな」と心配したのですが、やりがいのある仕事なので反対はしませんでした。今、息子は交番で働いていますが、私の姿を見て同じ職業を選んでもくれたことに正直嬉しく、今まで頑張ってきて良かったと感じています。
(53歳男性・警部補・警察署刑事課勤務)



【息子】…父から警察という職業を勧められたことはありませんでした。いつも仕事は忙しそうで、家に帰って来られないこともありましたが、ただ、自分も自然と警察官を受験するんだなと思っていました。父は、仕事の詳しい内容まで教えてくれませんでした。ただ、「やりがいはあるぞ」と話していたので、自然に警察官を志望しました。
(23歳男性・巡査・警察署地域課勤務)



【父】…息子には昔から警察の素晴らしさを伝えてきました。警察官は、今も昔も地域住民から信頼される存在であり、大変やりがいもあるということを伝えてきました。そんな警察の仕事だからこそ自分の子供にも勧めることができる職業で、二人いる息子の両方が警察官になってくれて、立派に働いている姿を見ると、改めて嬉しく思います。
(62歳男性・警視・警察署地域課勤務)



【息子】…幼い頃から父の背中を見て育ってきました。いつも忙しそうでしたが、警察の仕事にプライドを持って働いている姿は格好良かったし、家族も仕事も地域住民も大事にしている父に憧れて警察官になりました。これまで警察官になったことを後悔したことは一度もなく、少しずつ父に近づけるように頑張っています!
(36歳男性・警部・警察署生活安全課勤務)